

議会通信

12月定例会で3名の議員が一般質問を行い、町の考えを聞きました。要約してお知らせします。

一般質問

◆町政に対する4年間の実績と評価は？



議会通信

池下 昇 議員

地域経済振興と人口減少対策及び地域雇用対策の実績評価

池下議員 いまだ極めて厳しい経済雇用環境が続き、出口すら見えない実感がある。この間取り組まれた地域経済や雇用の拡大、人口減少の歯止めや定住人口の拡大といった目標について、具体的な実績と評価はどのように捉えているか。

町長 地域経済、雇用環境は大変厳しい状況にある。特に商工業関係は、相次ぐお店の閉店等があり、町に活力と賑わいをもたらす事業を第一に考え、店舗出店等支援交付金事業、店舗改修事業、住宅リフォーム事業を実施してきた。町内での新たな事業を掘り起こすものとして、一定の効果が出ていると評価を頂いている。また、商品券交付事業補助等の実施により地元の消費拡大に繋がっているが、購買力の町外流出を止める事業展開もやっとならなければならぬと判断している。

人口減少対策として、子育て環境の改善・充実、宅地の分譲、空き家バンク事業等の移住定住対策を展開してきた。また、移住体験ちよつと暮ら

し事業については、北海道でも上位の実績があるというところから、この事業を推し進めていきたい。

地域の雇用対策は、地域の経済振興対策と併せた中で引き続き積極的に支援したい。

池下議員 町としては各種事業を展開しているが、いまだ元気が無いように映る。我が町の経済を復活できるものはないか。

町長 様々な施策と同時に、この地域に商店を残すために買い支えるという町民の皆さんの総意と協力が必要である。

住民協働及び庭園のまちづくり

池下議員 住民協働と庭園のまちづくり事業の実績と評価はどのように捉えているか。

町長 庭園のまちづくり事業は、庭園のように潤いと親しみがあるふるさと清里町を基本姿勢に、町民と一体的な実践活動計画として推進しており、清里から札幌に向かってコスモスロード・フラワロードの展開を図っている次第である。また、景観休息スポットの整備も図っており、今後は、他の事業と併せて活用

したい。

池下議員 庭園のまちづくり事業は、行政主導になっていないか。

町長 町全体のベースとなる事業であり、町民の皆さんがまちづくりに参加している実感を持ちながら大きく負担のかからない体制が出来るよう次の展開についても検討していきたい。

診療所における医療体制

池下議員 地域の医療体制状況について、現在の医療法人との契約や協議の状況を伺いたい。

町長 契約内容については、診療施設と医療器具の無償貸し付けであり、診療の具体的な内容については取り交わしていない。ただし、診療時間内の救急の受け入れ、学校医、予防接種事業、産業医について受託確認は行っている。

池下議員 契約期間を終了せず撤退すると聞いているが、現在のここに至った経緯と町としての対応を伺いたい。

町長 平成26年春に、これ以上続けると経営が困難になるとの申し出があり、協議を重ねてきたが、町民の皆さんが納得できる内容では無かった。その後閉院すると通告があったため、次に開業していただくための医療機関等について募集をかけて探している状況である。

池下議員 清里町における医療体制を断固守り抜く覚悟があるのか。

町長 清里町を無医地区にする考えは無く、断固守り抜く覚悟で取り組んでいることをご理解頂きたい。

町職員の人材育成と職場環境

池下議員 職員を80名体制にすることで、一人に対する仕事の負担が増大しているのではないかと。また、役場職員全体のモチベーションが著しく低下傾向にあるのではないかと。職場環境の活性化に向けてどのような取り組みを行ってきたのか。

町長 円卓会議の実施等で風通しの良い職場環境に鋭意努力してきた。研修や個別研修にも積極的に派遣している。

また、役場職員の活力が随分と低下しているのではないかと。という指摘ですが、決してそうは思っていない。役場組織のグループ制の導入や団塊の世代の退職により、大きな配置変更があったが、落ち着きを見せ始めてきている。

統廃合された学校施設の活用対策

池下議員 新栄、江南両小学校の跡地活用について活用や処分の提案がなされていないが明確にお示し願いたい。

町長 地域の中で維持管理を含めた利活用は厳しい状況であり、行政の中で対応している状況である。しっかりとした建物であるので、もう少し様子を見ながら、新しい活用を見据えながら結論を出していきたい。但し、老朽化が行った時には処分を行う。

◆高齢者に対する見守りと安心・安全の確保

前中 康男 議員



光回線によるテレビ電話の活用と実績

前中議員 今年9月より取り組み始めた光回線によるテレビ電話の利用状況を伺いたい。

町長 札弦センター・緑センターからテレビ電話を通じて、保健センター職員と顔を見ながら、健康・介護・福祉の相談を受けられるよう事業実施してきているが、利用実績は余り上がってきていない実情にある。これは、高齢の方が馴染まない機械操作があり抵抗感があると思われる。周知方法としては、広報、ホームページに掲載している。札弦・緑両センターにチラシも置いてある。老人クラブの中で実技による周知も行っている。

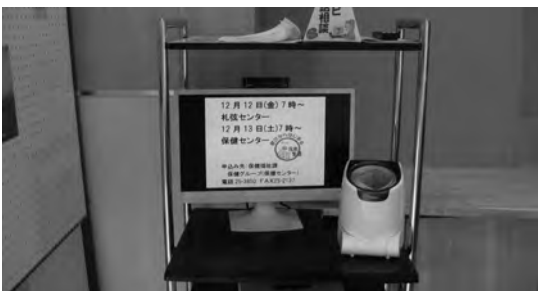
前中議員 なかなか利用されていない実態であるが、今後どのように行政としてフォローしていくのか。交通手段を持たない高齢者等をどのように見守っていくのか。

町長 基本的には、個々の家に端末が入って自宅から保健センターに直接連絡できる体制が一番良いと思うが、個々の家につけるにはかなりの高額であり、月額費用もある。今後利用しやすい低価格なシ

ステム等が出来れば検討していきたい。その間の見守りの体制としては、訪問による見守り、安否確認サービスや緊急通報システムの活用を継続して行っていく。

前中議員 行政側から集会中の高齢者にコミュニケーションを取る等の手法で利用実績をあげられるのではないかと。顔と顔が繋がる事業として成果が上がることを期待している。

町長 どんなに良い機械を入れても使用しなければ効果が無いので、保健師等がいろいろな会合に出向いた機会を利用しながら体験してもらい、周知に努めたい。



センターに設置されているテレビ電話

緊急医療情報キットの普及状況

前中議員 緊急医療情報キットの普及状況を伺いたい。

町長 医療情報等を専門の容器に入れ、万が一のときに駆け付けた救急隊員が情報を活用する事業であり、これまでに108件に情報キットを配布している。現在は施設入所等が減り、97件配布している。配置されている方の中で救急が出勤したのは19件であるが、聞き取りが出来る状況であり、実際に情報キットを利用したのは、1件である。

前中議員 配布が必要と認める対象者はどのくらいであるか。

町長 当初は、高齢者と障がい者分含めて250戸を予定していた。

前中議員 40%程度の普及率であるので、今後普及率を上げる方策はあるのか。

町長 基本的には要望される方に設置をしているが、該当になるうかと思われる方については、積極的に推進していきたい。



救急搬送時に有効な緊急医療情報キット

前中議員 救急医療の現場では一刻たりとも早く搬送するという部分では、すこく有意義な手段であると思われる。この情報キットの重要性、救急搬送における利便性を重々考慮し、普及啓蒙活動を進めてほしい。

町長 救急の現場で1件の実績があり、この利用の重要性を再確認しているところである。そのため、この情報キットがしっかりと機能していくように普及を行っていきたい。また、高齢者の方々为本当に住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる環境を整えていくことが求められているという認識をしているところである。

次期町政の担当について



勝又 武司 議員

4年前の選挙公約と町政運営の評価と総括は？

勝又議員 この4年間の目標として掲げてきた選挙公約達成の検証と町政運営の総括について伺いたい。

町長 この4年間公約に掲げた2つの基本方針と具体的な5つの目標を定め、住民参加と協働共創のまちづくりを基本としながら、住んで良かったと実感できるまちづくりのために、町民の皆さんとともに全身全霊を傾注して取り組んできた。

この期間の様々な事業については、不足する面もあるうかと思うが、大部分は実施することが出来た。各年度において緊急経済政策も実施した。また、公営住宅建設やパstrand道の駅の改修整備など様々な事業の展開を行うことが出来た。これらの施策や事業効果は、一定の広がりを持って浸透しつつあるものと判断している。

一方で、本町唯一の医療機関であるクリニックきよさとが3月末をもって閉院撤退をするとの予期しない事態が発生した。町民の皆さんの健康と

安全・安心を確保するためにあらゆる手段を講じながら医療が中断することの無いように全力で傾注してまいりる所存である。

次期町政を担当する考えがあるか？

勝又議員 長引く景気低迷や社会環境の変化により厳しく難しい時代であり、町民は不安と期待の中、町の進むべき方向に深い関心を持っている。次期町政を担当する考えはあるのか。

町長 町民皆様のご理解とご支持、ご支援を頂けるのであれば、課題の解決、そして幸せが実感できる住みよいまちづくりを実現するために引き続き町政を担当させて頂きたいと思っている次第である。

勝又議員 自分の町をどうしたいか、どんな町を次世代に残したいかを是非とも町民と一緒に考えて進んでいきたい。次期町政担当に向けての新たな決意はあるか。



議会答弁を行う櫛引町長

清里町のまちづくりの方向性は？

町長 基本的には子どもたちや若者が、これからの清里に夢や希望を持ち、ここに住んでいる人が幸せを実感できるまちづくりのために町政を担わせて頂ければという思いである。町民の皆さんと議会関係の皆さん、職員と力を結集しながら次の時代を切り開いていける、その先頭に立てればと思っています。

勝又議員 全国の市町村の約半分が30年後には消滅の危機を迎えるという発表もあり、我が町の人口も15年後現在の約半数という推計になっている。

る。そのような人口減少時代に突入した中、清里町の10年後、20年後の将来についての具体的なビジョンを描いているのか。

町長 人口減対策は、清里町も大きな課題として捉えていかななくてはならないだろう。この町の基幹となる産業をしっかりと確保しながら、様々な展開をしていく。これからは子育てや教育が大きな課題となってくるだろう。この町を創っていくのは、子どもたちであり若い世代である。そういう面において清里の子供たちがしっかりと夢や希望を描くことが出来るまちづくりをしていきたい。

質問は要約されています

質問・答弁の内容を要約して掲載しています。
会議の内容の詳細は、会議録をご覧ください。

議会からのお知らせ



議会・委員会を傍聴してみませんか

議会等の会議の日程や内容は、ホームページ、広報等で随時お知らせします。議会インターネット中継もご覧ください。
事前の手続きは必要ありませんので、お気軽にお越しください。
ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

清里町議会 編集：議会広報特別委員会
TEL：(0152)25-2131(内線300, 301) E-mail：kygikai@town.kiyosato.lg.jp